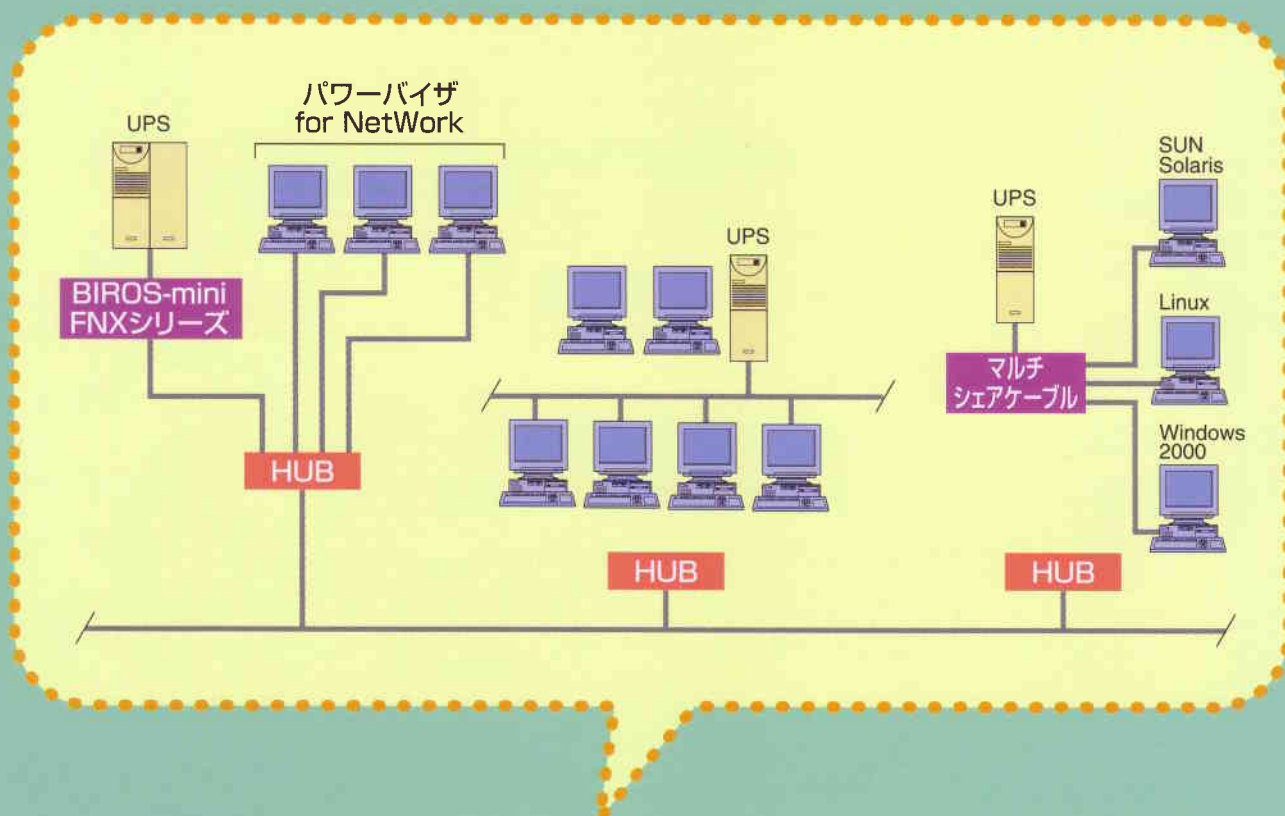


UPS to the Future!!

パワーバイザ&ソリューションパーツカタログ



ネットワーク上でのシステム管理を完璧に!

コンピュータシステムを保護するうえで、心強いソリューションパーツをそろえました。小規模から大規模基幹ネットワークシステム、それぞれに最適な環境創りをお約束します。

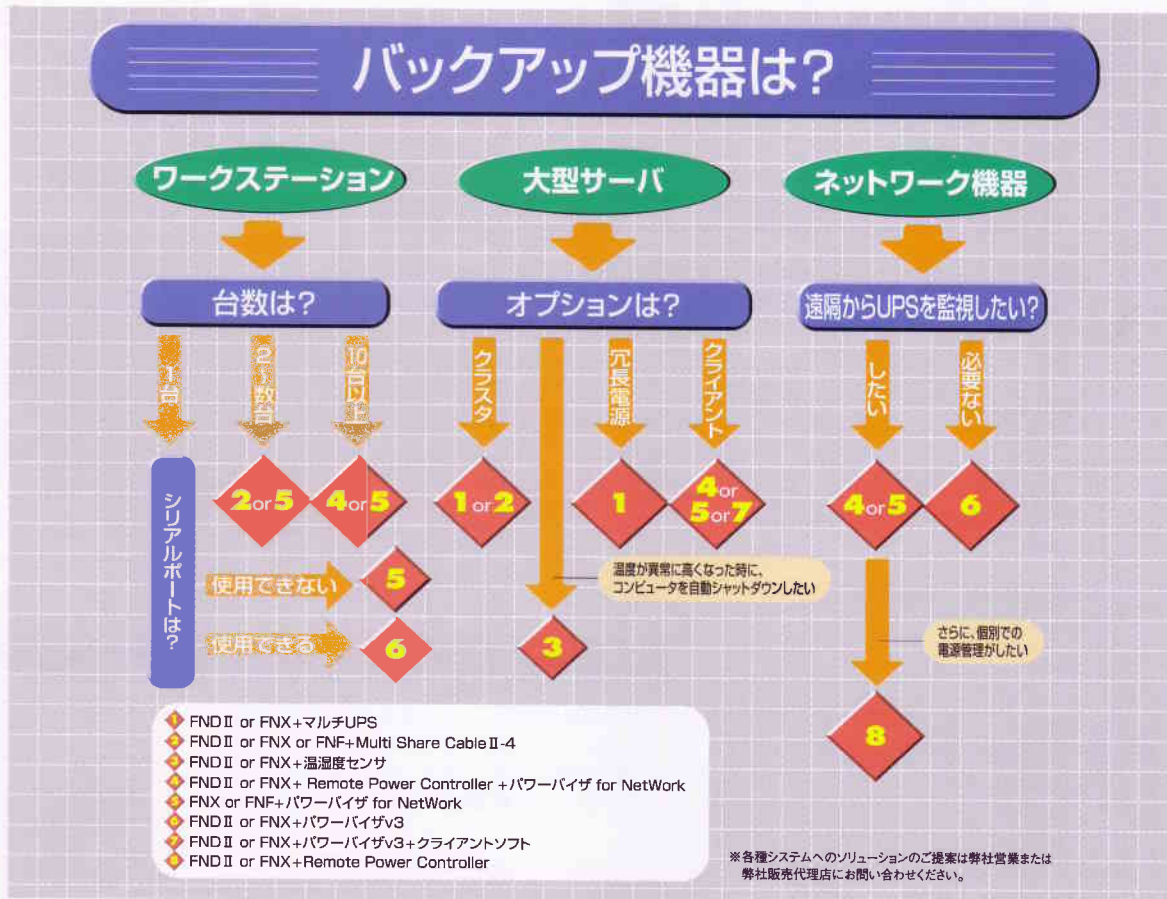
株式会社 ジーエスユアサ パワーエレクトロニクス

<http://www.gs-yuasa.com/gype/jp>

お客様の用途に応じて、機種をお選びください。

用途に応じた機種選びのお手伝いをいたします。

弊社のUPS、ソリューションパーツをご使用いただくことで、お客様の大切なシステムを安全かつ有効的にサポートします。



ソリューション・パーツ価格表

製品名	注記	型名	対応UPS	対応OSバージョン	価格(税込)	通信ボード	付属品	備考
温度センサー		SP-BOX011-W	BM (FNX) BM (FNDII)	パワーバイザ (v3) に準じる	¥134,400	Cボード	BOX, 通信ケーブル	組み合わせオプション パワーバイザ v3
Remote Power Controller		SP-BOX041-W	BM (FNDII) BM (FNX)	パワーバイザ for NetWork, パワーバイザSに準じる	¥197,400	ネットワーク カード	BOX, 通信ケーブル	SDケーブル (RPC)
パワーバイザ for NetWork	WindowsNT (3ライセンス)	SO-PV-N35001	BM (FNX) BM (FNDII)	WindowsNT Windows 2000	¥36,540	ネットワーク カード	CD	Remote Power Controller (注1)
	UNIX / win (3ライセンス)	SO-PV-N32001	BM (FNF)	パワーバイザ (v3) に準じる	¥62,580	ネットワーク カード	CD	
	UNIX / win (8ライセンス)	SO-PV-N36001		パワーバイザ (v3) に準じる	¥93,240	ネットワーク カード	CD	
マルチUPS対応 パワーバイザ	for Solaris 基本パッケージ	SO-PV-M3100A-W	BM (FNX) BM (FNDII)	SUN (Solaris)	¥126,000	Cボード	CD, 通信ケーブル (2m・5m各1本)	
	for Solaris 追加パッケージ	SO-PV-M3100B-W			¥63,000	Cボード	ソフトライセンス, 通信ケーブル (5m1本)	
	for SGI 基本パッケージ	SO-PV-M3200A-W		SGI (IRIX) HP (HP-UX)	¥126,000	Cボード	CD, 通信ケーブル (2m・5m各1本)	
	for SGI 追加パッケージ	SO-PV-M3200B-W		BM (AIX)	¥63,000	Cボード	ソフトライセンス, 通信ケーブル (5m1本)	
Multi Share Cable II-4		SP-MC401F-W	BM (FNFシリーズ)	パワーバイザ for FNFに準じる	¥83,790	Cボード	BOX (4出力), 4ライセンス CD-ROM1枚, ACアダプター UPS接続用ケーブル1本 (2m)	通信ケーブル (PFタイプ) ※別途ご購入下さい
		SP-MC401P-W	BM-PEGASUS	パワーバイザ for PEGASUSに準じる	¥68,040	Cボード	BOX (4出力), 4ライセンス CD-ROM1枚, UPS接続用ケーブル1本 (2m)	通信ケーブル (PFタイプ) ※別途ご購入下さい
		SP-MC401X-W	BM-FNX BM-FND II	パワーバイザ v3, その他左記UPSに 対応するソフトウェアに準じる	¥68,040	Cボード	BOX (4出力), 4ライセンス CD-ROM1枚, UPS接続用ケーブル1本 (2m)	通信ケーブル (DXタイプ) ※別途ご購入下さい
		SP-MC301-W (上記モデルの拡張用)	SP-MC401F-W SP-MC401P-W SP-MC401X-W	上記3モデルに準じる	¥52,290	Cボード	BOX (4出力), 3ライセンス UPS接続用ケーブル1本 (50cm)	通信ケーブル (PFタイプ) ※別途ご購入下さい

(注1) Remote Power Controller をご使用になれば BM-FND II シリーズでもご使用になれます。
※旧タイプのマルチシェアケーブルをお使いの場合は、別途ご購入下さい。

ソフトウェア・パーツ オプションケーブル

製品名	注記	型名	対応UPS	価格(税込)	通信ボード	付属品	備考
マルチシェアケーブル用 UPS側→9ピンタイプ (PFモデル)	9Pタイプ	NC-PF09-2	BM (FNF)	通信ケーブル (2m) 9P/9P	¥13,440	Cボード	通信ケーブル (2m)
		NC-PF09-5	BM (PEGASUS)	通信ケーブル (5m) 9P/9P	¥27,090		通信ケーブル (5m)
		NC-PF09-10		通信ケーブル (10m) 9P/9P	¥41,790		通信ケーブル (10m)
	25Pタイプ	NC-PF25-2		通信ケーブル (2m) 9P/25P	¥13,440		通信ケーブル (2m)
		NC-PF25-5		通信ケーブル (5m) 9P/25P	¥27,090		通信ケーブル (5m)
		NC-PF25-10		通信ケーブル (10m) 9P/25P	¥41,790		通信ケーブル (10m)
SUN (Netra) 専用 RJ45タイプ	NC-PF45-2	Netra用通信ケーブル Multi Share Cable II-4用	通信ケーブル (2m) 9P/RJ45	¥13,440	Cボード	Netra専用ケーブル (2m)	
SDケーブル (RPC)	RPC用シャット ダウンケーブル	NC-RP01-2	Remote Power Controller用シャットダウンケーブル (2m)	¥7,350			Remote Power controller パワーバイザS
		NC-RP01-5	Remote Power Controller用シャットダウンケーブル (5m)	¥8,400			
		NC-RP01-10	Remote Power Controller用シャットダウンケーブル (10m)	¥9,450			

(注2) Multi Share Cable II-4をご使用の際、システムのシリアルポート形状をご確認のうえ、最適なケーブルをお買い求め下さい。
(注3) 「パワーバイザ for PEGASUS」「パワーバイザ for FNF」で2m以上のケーブルが必要な場合、本ケーブルをご使用下さい。

1 POWERVISORv3[®]

パワーバイザv3

WebブラウザによるUPS監視と簡単設定、SNMPトラップと電子メール機能、ビジュアルなネットワーク対応機能、設置UPSの一括管理等々、多くの機能を持ち合わせている優れたソフトウェアです。

- 対応UPS BM-FND IIシリーズ BM-FNGシリーズ
BM-FNXシリーズ BM-FNFシリーズ



2 マルチUPS対応パワーバイザ

CPUの他にRAIDを持ったシステムやSGIのOrigin2000のようなマルチCPUシステム、また冗長電源に対応したシステムの場合、1つのシステムを複数台のUPSでバックアップする必要が生じます。本製品はそのような場合に有効です。

- 対応UPS BM-FND II /BM-FND/R (Cボード付) シリーズ
BM-FNXシリーズ

3 Multi Share Cable II -4

「Multi Share Cable II -4」と「パワーバイザv3」を使用することにより、セグメントの異なるサーバを1台のUPSで安全にバックアップします。また、この仕組みを利用することにより1台のUPSでクラスタシステムにも対応可能です。従来のカスケードケーブルでは、マスターに接続されたサーバが停止するとUPSと通信ができませんでした。「Multi Share Cable II -4」は全てのサーバと同一条件で通信するためクラスタシステムに最適な環境を提供します。

- 対応UPS BM-FND II /BM-FND/R (Cボード付) シリーズ
BM-FNX/BM-FNG/BM-FNFシリーズ



4 Remote Power Controller

「Remote Power Controller」は、ネットワーク網(Web/SNMP)を介して、ネットワーク機器全体の電源制御を可能にします。ネットワーク技術者が現地に赴くことなく、トラブルのあった機器のみのリポートを行なうことができます。またUPSとの連携により、停電時やリモート停止時のコンピュータのシャットダウンも可能です。

- 対応UPS BM-FND II /BM-FND/R (Cボード付) シリーズ
BM-FNXシリーズ



5 パワーバイザ for NetWork

UPSからの情報をネットワーク経由で「パワーバイザ for NetWork」が監視し入力電源異常時には自動的に複数のサーバをシャットダウンさせます。UPSのためにRS232Cポートを占有されることはありません。さらに電源障害を電子メールとSNMPトラップで遠隔の監視端末に通知させることも可能です。

- 対応UPS及びアクセサリ BM-FNX/BM-FNFシリーズ
Remote Power Controller

6 温湿度センサ

温湿度センサは、温度・湿度という2つのコンピュータの周辺環境を監視するための装置です。パワーバイザv3との併用により、設定された温度・湿度が計測された時に警報表示や自動シャットダウンが可能になります。

- 対応UPS BM-FND II (Cボード付) シリーズ
BM-FNXシリーズ



ACアダプタ、UPSとの通信ケーブルは、付属しております。

POWERVISOR[®]v3

パワーバイザv3

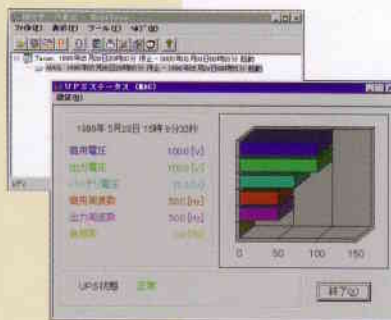
ネットワークが一層複雑になっている今日、電源のもたらす様々な問題が企業の生産性を危機に陥れようとしています。ビジネスの活力のためにも、またその成長を支えるためにも、ネットワーク管理者は従来よりもパワフルなソリューションが必要になってきています。

POWERVISORv3をご利用になればクリティカルな業務を支えるサーバやワークステーションのデータ損失を「計画的な電源管理」によって未然に防ぐことができ、データ保護に関して決定的な成功をもたらします。

ワークステーションからのUPSのリモート一括管理

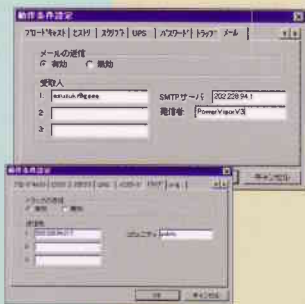
「UPS管理ツール」を利用すれば、POWERVISORv3がインストールされている*1全てのコンピュータを1台のコンピュータからリモートで監視・管理することが可能です。「UPS監視ツール」を起動すると*2サーチされたコンピュータが運用スケジュールとともにアイコン表示され、そのいずれかの*3アイコンをクリックすれば、個々のUPSの詳細情報を知ることができるとともに障害時の電子メールの宛先やスケジュールなどを変更することも可能です。

- *1:起動時にサーチコマンドをネットワーク上に送信します。そのサーチコマンドに返信したコンピュータが表示されます。
- *2:ネットワークの構成によっては、監視するホストの登録が必要になる場合があります。
- *3:NT版-UNIX版間では制限があります。



管理ツール機能からのステータス表示

リモートからLAN上の任意に選んだコンピュータの電源状態を監視します。グラフィカルな表示のため確認が容易です。



e-mail & Trap 送信機能

Trapではホストを3個所まで、またe-mailでは受信者を3人まで選ぶことができます。

電子メール送信とSNMPトラップ送信

POWERVISORv3は、停電時・復電時・サービス起動時・シャットダウン時にSNMPトラップを発行させ、HP-OPENViewやその他のSNMPマネージャーでそのトラップを受け取り表示*1することができます。また同様に電子メール送信機能を使ってUSPの状態変化*2を遠隔地の管理者にメール送信*3*4することもできます。

- *1:v301からは、「UPS管理ツール」上でも受信表示が行えます。
- *2:v301のNT版では、イベント毎のトラップ送信・メール送信の有無を設定できます。
- *3:メールサーバ(SMTPメールサーバ)がネットワーク上に必要です。
- *4:送信されるメールにUPS電源データログを添付することも可能です。

WebブラウザによるUPS監視と簡単設定

POWERVISORv3に標準搭載された簡易Webサーバ*1の起動によりコンピュータに接続されたUPS毎の状態監視・動作パラメータの設定がInternetExplorerやNetscapeを使って簡単に行えます。

- *1:ネットワーク上に他のWebサーバが起動されていた場合、ポート番号を変更してUPSWebサーバを起動することができます。
- 図:NT版では、コントロールパネル中の「サービス」をクリックし「UPS WWW Server」サービスを起動させます。また、「スタートアップ」をクリックして「自動」に設定して下さい。以降はPOWERVISORv3のサービスがコンピュータ立ち上げ時に自動的に開始されます。



UPS監視・管理WWWサーバ

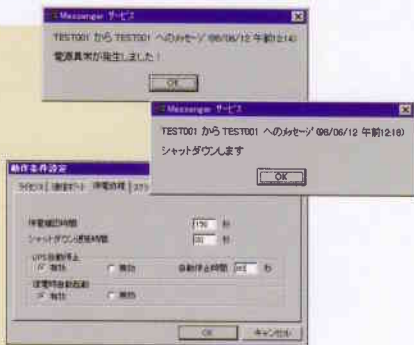
コントロールパネル中のサービスをダブルクリックし「UPS WWW Server」サービスを起動させます。以後はPOWERVISOR v3のサービスがコンピュータ立ち上げ時に自動的に開始されます。

電源異常の迅速な通知と自動シャットダウンおよびリブート

システム管理者が不在の時に突然起きた停電時、POWERVISORv3は貴重なデータを安全かつ確実に保護する自動シャットダウン機能を提供します。またユーザは停電確認時間をパラメータ上で設定(変更)することで、短時間停電の時には不要なシステムのシャットダウンを回避でき、一時的な生産性の低下を極力抑えることが可能です。

また、POWERVISORv3はシステムのシャットダウン後にUPSの自動停止の設定も可能なため無駄なバッテリーの消耗を抑え、復電後にはUPSからの給電によってサーバをリブート*1することも可能です。

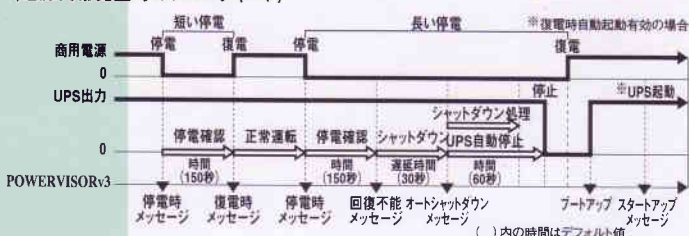
- *1:ハードスイッチタイプやオートブートが可能なコンピュータで可能です。一部のコンピュータでは実現できません。



通知メッセージと動作条件設定

OSのMessengerサービスでWindows画面上に警告表示が可能です。また停電処理に関わるパラメータで5項目の設定が可能です。

〈電源異常発生時のフローチャート〉



サーバの自動運転が可能なスケジュール機能

POWERVISORv3はサーバの自動終了とUPSの自動起動*1を可能にします。このスケジュール機能は1回のみの「単一」、毎週(曜日毎)行う「週間」、月単位で毎年繰返される「年間」の組合せが可能であり、さらにスケジュール中の臨時停止・起動やスケジュールの終了時刻にユーザがログオンしていたり、共有資源を使用している場合などは遅延時間を設定して終了時刻を遅らせることもできます。また予めスケジュール登録したホストからLAN上*2のPOWERVISORv3が稼動している複数のコンピュータにスケジュールをコピーすることもでき、多様な運用を実現します。

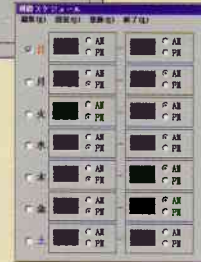
- *1:ハードスイッチタイプやオートブートが可能なコンピュータでは、システムの自動起動も可能です。スケジュール運転による停止中に長時間の停電がある場合、一部の機種種のUPSでは起動予定時刻に出力しないものもあります。(詳細は弊社ホームページFAQを参照下さい。)
- *2:「UPS管理ツール」の機能を利用します。NT版・UNIX版間ではコピーできません。

データベースのクローズ処理*1やリモートマシンのクローズ処理*2 が可能なスクリプト実行機能

POWERVISORv3はユーザが作成したスクリプト(バッチプログラム)を指定して、次のタイミングで実行することが可能です。

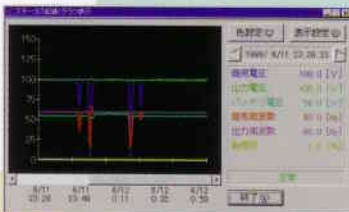
- ・スケジュール運転での停止前処理
- ・スケジュール運転での停止時
- ・オートシャットダウン時
- ・停電発生時
- ・スタートアップ時(サービスの起動時)
- ・電源が回復不能とみなされた時
- ・復電時

- *1:データベースのクローズプログラムのスクリプト(バッチプログラム)として登録してください。
- *2:rshコマンドを利用して、リモートマシンに対してシャットダウンコマンドを発行します。この場合、ネットワークも電源保護する必要があります。(UNIXシステムで可能です。)



スケジュール機能

スケジュールの優先順位は、単一>週間>週間で、月間と単一スケジュールの初期値は週間スケジュールになります。設定は必ず週間スケジュールを月間や単一の前に設定します。



ステータス・ログ機能

CSV形式でのステータス・ログは右から年月日/時間/商用電圧/バッテリー電圧/出力電圧/負荷率/商用周波数/出力周波数です。

現在と過去の電源状態を迅速に把握

過去に入力側の電圧や周波数に大きな変化があったかどうか?それは何月何日の何時であったのか?この現象はほぼ同じ時間帯に発生しているかどうか?…システムのダウンタイムを極力減らすためには過去の電源状態をまず知ることです。POWERVISORv3は現在の電源状態を逐一計測しグラフとして表示することが可能です。またUPSのステータスも同様にログとして管理・蓄積ができるため過去の商用電圧や周波数を年月日と時刻で詳細に検討することが可能です。この計測データはCSV形式で表示され印刷出力もできるため電源状態の解析に役立ちます。

クライアントプログラム

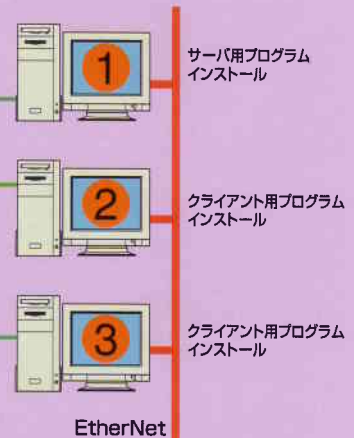
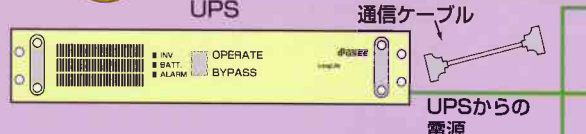
「パワーバイザv3」には、サーバ用とクライアント用の2種類のシャットダウンプログラムが入っています。UPSと通信ケーブルで接続されたサーバに「サーバ用プログラム」をインストールしてUPSと通信させます。他のサーバには「クライアント用プログラム」をインストールします。

* サブネットが同一なネットワーク環境でご利用いただけるプログラムです。セグメントが違うネットワーク環境ではご利用できません。(HUB等のネットワーク機器もUPSによるバックアップが必要になります。)

電源障害時には、「サーバ用プログラム」より発信された停電信号を「クライアント用プログラム」がネットワーク経由で受信して連携してシャットダウンします。

* クライアント用プログラムはフリーソフトです。サポートが必要なユーザさま用にクライアントサポートパッケージを別途用意しています。(10ライセンスパッケージです)

パワーバイザv3



- 対応UPS GNXシリーズ
FNXシリーズ
FNDシリーズ
- 対応OS環境 パワーバイザv3と同等

2 マルチUPS対応パワーバイザ

システムに接続されている複数のUPSを1台のサーバで管理可能。

複数台のUPSを1つのパワーバイザで監視します。

システムの運転に支障をきたすような電源障害が発生すると、自動的にシステムをシャットダウンしてUPSを停止します。その際、シャットダウン条件をフレキシブルに設定できます。

例えば、RAIDシステムのような場合。どれか1つの電源で障害が発生すれば、システムを直ちに停止させることができます。逆に冗長電源システムの場合では、電源が1つでも有効であればできる限りシステムの運転を継続するよう設定できます。最大で10台までのUPSを同時に監視できます。

※管理するUPSごとにシリアルポートがひとつ必要になります。

※管理するUPSは、全て同一機種であることが必要です。

■対応OS

Solaris・HP-UX・AIX・SGI

■基本パッケージ:内容

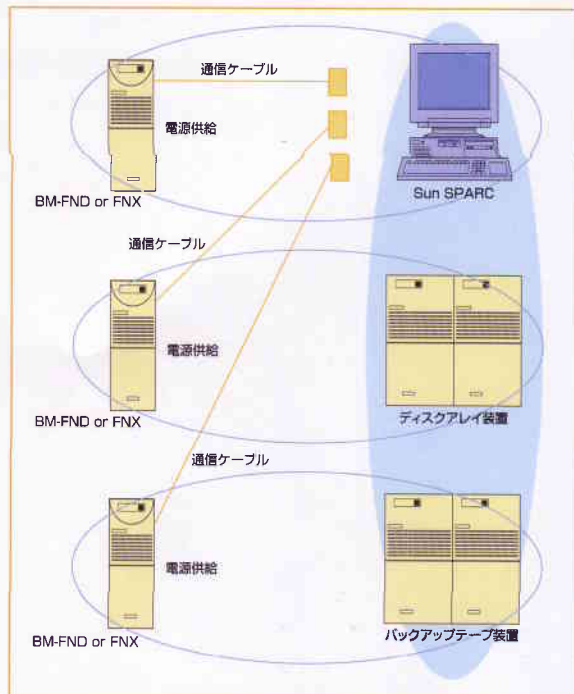
CD-ROM、ライセンス×2、ケーブル2m・5m各1本

価格 **¥126,000** (税込)

■追加パッケージ:内容

ライセンス×1、ケーブル5m、1本

価格 **¥63,000** (税込)



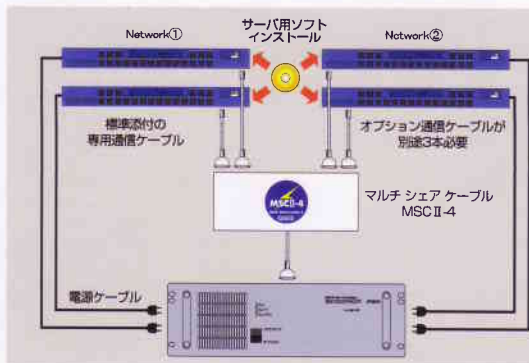
*上記システムは、基本パッケージ×1、追加パッケージ×1を使用

3 Multi Share Cable II-4

「Multi Share Cable II-4」と「パワーバイザv3」を使用することにより、セグメントの異なるサーバを1台のUPSで安全にバックアップします。また、この仕組みを利用することにより1台のUPSでクラスタシステムにも対応可能です。

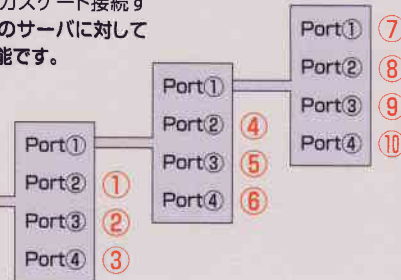
従来のカスケードケーブルや他社のシリアル増設ボードでは、マスターに接続されたサーバが停止するとUPSと通信ができませんでした。

「Multi Share Cable II-4」は全てのサーバと同一条件で通信するためクラスタシステムに最適な環境を提供します。



「Multi Share Cable II-4」は、4個の通信ポートを装備しています。最大3個をカスケード接続することで1台のUPSから10台のサーバに対して通信ポートを用意することが可能です。

UPSの通信ポートへ



■対応UPS

FNXシリーズ FNGシリーズ
FNDシリーズ FNFシリーズ

■対応シャットダウンソフト

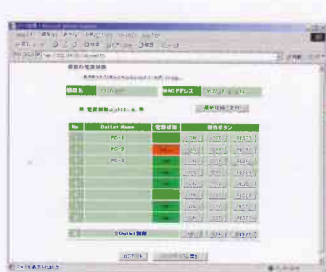
パワーバイザv3

4 Remote Power Controller

ネットワークに接続されたさまざまな機器の電源をリモートからコントロール

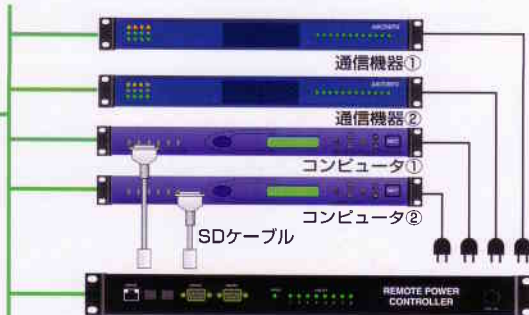
Remote Power Controller は、ハングアップしたコンピュータやネットワーク機器を再起動させるだけではなく、各「ACアウトレット」と連動した「シャットダウンインタフェース」を装備しているため、動作中のコンピュータのOSを自動終了させた後、停止させることも可能です。

(専用通信ケーブル「SDケーブル」*が別途必要)



システム管理者のブラウザ画面

Ethernet



* OSのシャットダウンには、コンピュータ①、②にシャットダウンソフト「パワーバイザv3」をインストールする必要があります。

* コントロール画面は、制御するコンピュータの「IPアドレス」、「ID」、「パスワード」によって保護されます。

* Remote Power Controller 1台で最大8台の通信機器及びコンピュータの制御が可能です。

(Remote Power Controller を2台カスケード接続することにより最大16台の制御が可能です)

* SDケーブルは、2m、5m、10mの3種類を用意しております。

「Remote Power Controller」は、ネットワーク網を介して、ネットワーク機器全体の電源制御を可能にします。ネットワーク技術者が現地に赴くことなしに、トラブルのあった機器のみのリポートを行なうことができます。またUPSとの連携により、停電時やリモート停止時のコンピュータのシャットダウンも可能です。

■対応UPS

FNXシリーズ・FNDシリーズ

■対応シャットダウンソフト

パワーバイザ for NetWork<UNIX (Linuxを含む)>
 パワーバイザS 標準添付
 (但し、別途シャットダウンケーブルが必要)

■特徴

◆LAN/WANから電源を制御

LAN/WANなどのネットワーク網を経由(Web/SNMP)し、「Remote Power Controller」背面の8個アウトレットを個別にON/OFFすることができます。更に1台の「Remote Power Controller」をカスケード接続することにより最大16個のアウトレットを制御することも可能です。

◆オートリポート機能を提供

アウトレットに接続されている機器に対してICMP (ping)を約1分間に1度送信することにより機器の状態を監視します。10回*トライしても応答がない場合には以下のいずれか、または両方の処理を実行させることが可能です。
 ・システム管理者に対してSNMPトラップを発信して通知する。
 ・自動的に対象機器の接続されているアウトレットのリポートを実施する。

*初期値は10回に設定されていますが、回数は設定変更が可能です。

◆Walk On LANに対応

Walk On LANに対応した機器であれば、出力ON時にマジックシグナルを発信することにより、ソフトスイッチ仕様のコンピュータであってもブートアップすることが可能です。

■製品仕様

項目	内容
通信方式	TCP/IP (SNMP/Web)
最大制御出力	1500W
電源制御系統	8個 8系統 (個別制御)
外部I/F	10BASE-T X1, RS232C X2 シャットダウン信号出力X8 (形状:RJ-11) (*別途オプションケーブル要)
使用電源	AC100V±10% (50/60Hz)
使用環境	温度:5~40℃ 湿度:20%~85% RH (結露しないこと)
外形寸法	445 (W) X 200 (D) X 44 (H) mm (突起物を除く)
型式	SP-BOX041-W
重量	4.3Kg



◆UPSとの連携

UPSとのI/Fも装備。Web上からUPSの状態監視を行なうこともできます。(BM-FND IIシリーズ、BM-FNXシリーズとの接続ケーブルを標準添付しています。)*「パワーバイザ for Network」との連携による停電時等のOSの自動シャットダウンも可能です

◆シャットダウンI/Fを搭載

「シャットダウンI/Fケーブル」及び「パワーバイザS」を組み合わせることにより、電源を切る前にOSをシャットダウンしコンピュータを正常終了させることもできます。(別途「シャットダウンI/Fケーブル」が必要になります。「パワーバイザS」は同梱されています。)

◆アウトレット毎のリポート

アウトレットは、個別に制御可能ですので、ハングアップした機器のみを周辺機器に影響を与えることなく、リポート可能です。また個別に出力/停止の遅延設定も行なえます。(シャットダウンケーブル/パワーバイザSの組合せでOSのシャットダウンも可能です。)

◆ネットワーク監視・管理システムとの連携

SNMPエージェント機能を実装しているため、各種ネットワーク管理マネージャとの連携も可能です。

5 パワーバイザ for NetWork

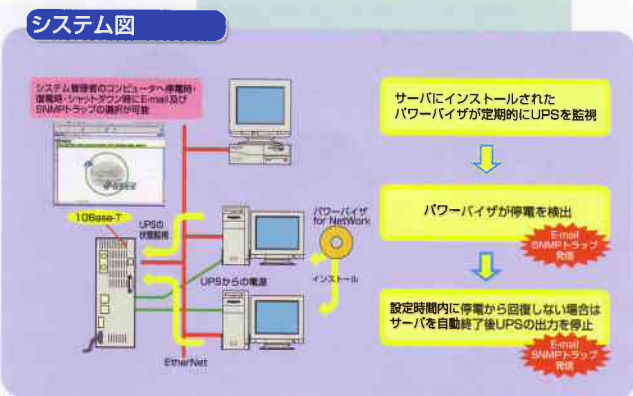
UPSからの情報をネットワーク経由で「パワーバイザ for NetWork」が監視し入力電源異常時には自動的に複数のサーバをシャットダウンさせます。UPSのためにRS232Cポートを占有されることはありません。さらに電源障害を電子メールとSNMPトラップで遠隔の監視端末に通知させることも可能です。

■対応UPS及びアクセサリ

FNXシリーズ/FNDシリーズ
 Remote Power Controller

■対応OS環境

UNIX (Linuxを含む) 環境



6 温湿度センサ

温湿度センサは、温度・湿度という2つのコンピュータの周辺環境を監視するための装置です。パワーバイザv3との併用により、設定された温度・湿度が計測された時に警報表示や自動シャットダウンが可能になります。

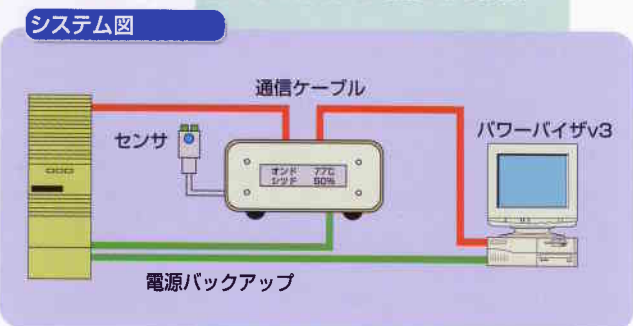
■製品仕様

項目	内容
外形寸法	110 (W) X 80 (D) X 55 (H) mm (突起物を除く)
使用電源	AC100V 外付DC6Vアダプタ使用
ケーブル長 (センサ部分)	外付ケーブル長1m
シリアル通信	コンピュータUPS間のシリアル通信に重複
温度計測	範囲:0~60℃ 精度:±1℃
湿度計測	範囲:10~90%RH 精度:±10%
液晶表示	16文字X2行

■対応UPS FNXシリーズ・FNDシリーズ

■対応シャットダウンソフト

パワーバイザv3 UNIX版 (Linux版を含む)



■注意事項… ◆取扱説明書を必ずお読みいただいた後ご使用ください。 ◆取扱説明書は大切に保管し活用ください。

- 危険**… ●装置に蓄電池を内蔵していますので、密閉された設置環境では使用しないでください。水素ガスが発生しますので引火発火の原因となる恐れがあります。
- 注意**… ●仕様書に決められた環境でご使用ください。装置故障、部品劣化などにより寿命を短縮させる原因となる恐れがあります。(ご使用温度範囲:0~40℃)
●次のような用途には絶対使用しないでください。 a. 人身に直接かかわる医療機器などへの使用 b. 人身の損傷に至る可能性のある電車、エレベーターなどへの使用。
●社会的、公共的に重要なコンピューターシステムなど公共の機能維持に重大な影響を及ぼす設備機器への使用に際しては、電源の二重化など特別の配慮が必要ですので事前にメーカーにご相談ください。
●直射日光の強いところ、ストーブの前面、火のそばなどに設置しないでください。装置故障の原因となる恐れがあります。
●本装置をご使用の場合は、粉塵の多い場所で使用しないでください。故障の原因となる恐れがあります。
●本装置は定期的な点検を行う必要があります。詳しくは取扱説明書によってください。
●内蔵している蓄電池は取扱説明書に記載された期間ごとに交換する必要があります。期間を外れて使用しますと蓄電池の破損や焼損及び発煙・発火の原因になることがあります。
●本装置は日本国内仕様品です。国外での仕様については、別途お問い合わせください。日本国内仕様品を国外で使用すると、電圧、仕様、環境が異なり発煙、発火の原因となる場合があります。
●負荷の制限について…本装置はコンピューター-関連機器用の無停電電源装置です。次のような負荷装置類を接続しないでください。
a 半波整流器・モーター・コイルを内蔵している負荷 b レーザープリンター・複写機などの連続的に大電流になる負荷 また、トランス内蔵負荷についてはご相談ください。
●内蔵している鉛蓄電池はリサイクル可能な貴重な資源です。鉛蓄電池の交換および、ご使用済み製品の廃棄に関しては、リサイクルへご協力ください。

ミニUPSサービス相談室

当社ミニUPSに関するお問い合わせは下記まで

フリーダイヤル

0120-456-652

(9:00~12:00・13:00~17:30 土日祝日・当社休業日を除く)

※携帯電話・PHS
ご使用の場合は **075-312-0680**

※記載の会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。



※本カタログの製品は改善のため予告なく一部仕様を変更する場合がありますのでご了承ください。
※記載の会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

株式会社 ジーエス・ユアサ パワーエレクトロニクス

東 京 〒143-0016 東京都大田区大森北4-8-1 ユアサ大森ビル
TEL.03-5763-1713 FAX.03-5763-1714

西 日 本 〒530-0003 大阪府北区堂島2-2-2 近鉄堂島ビル14F
TEL.06-6347-7691 FAX.06-6347-7692

名古屋事務所 〒460-0002 名古屋市中区丸の内1-2-31 景雲橋ハイツ1F
TEL.052-232-0460 FAX.052-232-0461

http://www.gs-yuasa.com/gype/jp

株式会社 ジーエス・ユアサ パワーサプライ営業各拠点

